

下野コミュニティエフエム第7回放送番組審議会議事録

開催日時：2021年8月27日(木)	開催場所：下野市役所第203会議室
出席委員：猪瀬・小島・小谷野・鈴木・根橋・山内(委員長)	：6名

※発言については趣旨を変えない範囲で一部を省略・要約しています。

委員全7名のうち6名の出席をもって会の成立とし、10時00分に開会した。

※欠席の鈴木委員からは「発言要旨」として書面にてご意見をいただいたため参考意見とした。

1. 報告事項

・運営状況

事業者より(ケーブルビジョン株式会社ラジオ事業部管理責任者)

2. 審議事項

・議題…番組内容について

事前に送付した資料(記録物)を各委員が聴取し、それに対して委員が意見を述べた。

※2021年7月31日放送「しもつけピタッとラジオすぺしゃる」

山内委員長：

審議対象番組について説明を。

事業者：

「しもつけピタッとラジオすぺしゃる」は、7月31日13時から1時間55分の生放送特別番組として、ゆうがおパークにて実施した。

平日の12時台に放送している「しもつけピタッとラジオ」の特別版という位置づけで、年に何回か不定期で実施している。

今回はこの状況なので屋外での放送はどうかという声もあったが、感染対策を十分にした上で、市内の施設でご家族でこじんまりとバーベキューをしてみませんかという趣旨で実施をした。

施設や物販の紹介、放送中にバーベキューをしてその様子などを放送した。

山内委員長：

番組に対してご意見をお願いしたい。

小島委員：

パーソナリティが2時間ほとんどしゃべっていて、例えば施設のマネージャーの話などがなかった。

この施設をどんな思いで造ってどのような評価を受けているか、などの話があれば良かった。

パーソナリティだけの話になってしまっているの、ただ自分達が楽しむ企画なのか、それとも、地域の経済をこう発展させるという話なのか、わからなかったが、どうか。

事業者：

今回は下野市さんとの共同番組ということで、市と打ち合わせさせていただきながら決めていった。

支配人にもインタビューというかたちでご出演をいただいているが、電波の状況などあったので聴こえない部分になってしまっていたのかもしれない。そこは説明不足でお詫びするしかない。

小島委員：

聴き逃したかも知れない。番組の企画は良いと思った。

バーベキューは安いし何も持って行かなくてもあそこで完結するということが市民がどんな反応を示しているのか聴きたかった。

施設も初めは辛かったが最近は利用者も増えているので、その辺も伺いたかった。

事業者：

その後のことは聞いていないが、リスナーの反響では「行ってみたい」等の声はあった。

番組をきっかけに知っていただいたと考えている。

根橋委員：

この番組の実施については誰が決めているのか。

この時期にこのような企画で、感染防止策など基本的な話が出ておらず、配慮が必要だったのでは。そういう部分で、どのようなタイミングでどう決めているのか。

今の話題はコロナだと思うが、関連する内容が足りない。市としてもっと積極的に放送を使うべき。学校の夏休み延長するしないとか接種率がどうとか、旬の情報を出すべきではないかと思った。

番組については、まず冒頭にこの施設の特徴の話があったが、開園時間の情報が出てこなかった。

「東の道の駅に対して、西のゆうがおパーク」という話がリスナーからあったが、そういう特徴をパーソナリティが紹介したほうがよかったのではと思った。

老人や子供に優しいとあったので行って見たが、実際は狭く言っていることと違うのではと思った。

パーソナリティ2人の会話の中に「なんとかでさあ〜」とあったので、これがここの方言なのかと気になった。

大島さんの笑い声はいつ聴いても好きだ。今、この時期にそれはどうなのかという意見もあったが、あの大声と笑い声は独特で癒やされると私は思っている。

途中でバックの音楽が大きくて、声が聴きとれなかった箇所があり残念だった。

あそこの特徴というのはもう少し深く突っ込んでいただいたほうがよかったかなと思う。

また、どうすればこの施設の認知度が上がるかなども採り上げたら良い。

山内委員長：

今回の放送を決めた経緯について説明を。

事業者：

「しもつけピタッとラジオ」特別放送は、今回に限らず、市担当課のラジオ担当の方と決めている。

なぜこの時期にというご意見もあり私たちにも懸念はあったが、これからお子さんが夏休みという時期にずっと家にいてくださいばかりでは、リスナーの立場からしたら聴くのも嫌になってしまう。そこでこの状況下でも身近で大きな移動を伴わず大人数と接触をしないで楽しめるような情報を提供できないかと考えたところで、この施設を選んだ経緯がある。

感染対策について話題が不足していたというのは、構成上の問題であり今後注意したいと思うが、夏休みを前に屋外で安全に楽しみましょうという趣旨で実施をしたという次第。

根橋委員：

趣旨はよくわかるが、であればそこをもっと強調すべきだった。全部伝わっていなかったのでは。だから何故こんな時期にという意見が出てしまう。やるなということではなくて、やる目的をもっと明確に伝えるべきじゃないかということ。

事業者：

反省点としたい。

山内委員長：

コロナの話題が少ないのではないかという意見があったが、タイムリーな話題もそれなりにあるし、ところどころに出てるとは感じたので、もっと全面に出した方が良い。

根橋委員：

事業者側の問題か市側の問題か解らないが、放送をどうしていきたいのかコンセプトが見えないとそれに対する意見も言えない。

山内委員長：

施設の開店時間や特徴を番組で取り上げるべきとの意見について、台本などで施設の情報を事前にパーソナリティと共有していたのか。

事業者：

制作部門で台本を作って、パーソナリティがそれに沿ってトークをするということになっている。基本的な情報は入れるべきところで、営業時間というような基本情報は入れることにはしているの、番組上で解りにくかった、伝わっていなかったとしたら私たちの説明不足であるので今後改善したい。

本橋委員：

番組で店内をレポートしていたが、お客さんに話を聞ければ良かったと思う。

直売所で売られている農産物は地元農家の方が納めていると思うが、納めている方の話も聞ければ直売所の趣旨がより伝わったと思う。

山内：

実際、お客さんはいたのか。

事業者：

お客さんは放送中に入れ替わり立ち替わりで数名がいらっしやった。こういった番組ではお客にもマイクを向け話を聞くのが基本だが、こういう時期でもあるので控えた。

直売所の生産者の方に話を聞くのはあって良かったと思うので今後検討したい。

猪瀬委員：

私はこの施設に行ったことがなかったが、2時間で疑似体験ができたような気がする。

ただ、バーベキューということで、焼いてる音を拾うような演出があればもっと臨場感があって、行ってみようという意識に繋がったかと思った。

ただ、この状況で、また河川敷でバーベキューをやることに悪いニュースがあった時期だったので、時期的にはどうだったのかという気がした。

小谷野委員：

ここは毎週のように買い物に行きよく利用しているところだが、当初はお客さんがつかない状況で、今回取り上げていただいて、紹介していただいたことはすごく良かったのかなと思う。

番組では、若干雑音が入ったりオープニングで音楽が大きく聴きづらいところがあったということ、その辺は注意が必要かと思った。

また、時期的にバーベキューを採り上げるのはどうなのかという意見が出ているが、施設の売りは、新鮮な野菜、バーベキュー施設、小さなお子さんたちが安心して遊べるような遊具というのが非常に人気があるので、リスナーには行ってみたいなという思いがあったかなと思う。

ただ、放送の仕方はやはり難しいだろうなと思った。

あまり広い施設ではないので、フードコートという言い方があったが、フードコートといえるかと思いつながら聴いた。やはり伝え方は難しいと思った。

小島委員：

番組を聴いて、バーベキューができる施設ということを知って、孫たちを連れて行きたいと思った。ネットやお店にチラシが置いてあるという案内もあれば良かった。

ラジオ体操の話、大松山運動公園のラジオ体操もせっかく施設があるんだからやろうということで、あの近所の住人から始まりゆうがおパークでも始まっている。地域の産業振興にもなっている感じがするので、大いに宣伝して欲しいと私は思っている。

山内委員長：

市民活動などをされている団体があるが、そういったものを紹介する番組はあるのか。

事業者：

「しもつけピタッとラジオ」で、市内で活動されている方をお招きしてやらせていただいている。

また、ピタッとラジオに限らずそういう情報を随時採り上げさせていただいている。

ラジオ体操の件も確認はしていないがどこかの番組で採り上げていたと思う。

規模の大小に関わらず情報があれば採り上げているので、皆さんからもお寄せいただきたい。

3. その他

次回開催は10月末頃を想定しているが、状況を鑑みて改めて通知する(事務局)。

議事を終了し、11時00分に閉会した。

以上